

# 苗箱数を削減！ 「水稻高密度播種」

## 【作業面のメリット】

- ① 10aあたりの苗箱数が大幅に削減でき、播種時間や運搬・苗供給が減る。
- ② 育苗日数が短縮され、育苗ハウスで2回育苗できる。

## 【経営面のメリット】

- ① 育苗ハウス不足が解決できる。
- ② 育苗培土・育苗箱を削減できる。

## 【メーカー各社の技術概要】

メーカー	技術名	播種量(乾籾) (g/箱)	育苗日数 (日)	苗丈 (cm)	葉齢 (葉)	10aあたりの 苗箱数(枚)
ヤンマー	密苗	250~300	15~20	10~15	2.0~2.3	7~8 坪60株植
クボタ	密播苗	約250	10~21	10~13	1.5~2.2	9~11 坪50~60株植
井関農機	密播疎植	220~250	14	12~15	2.0~2.5	約6 坪37株植

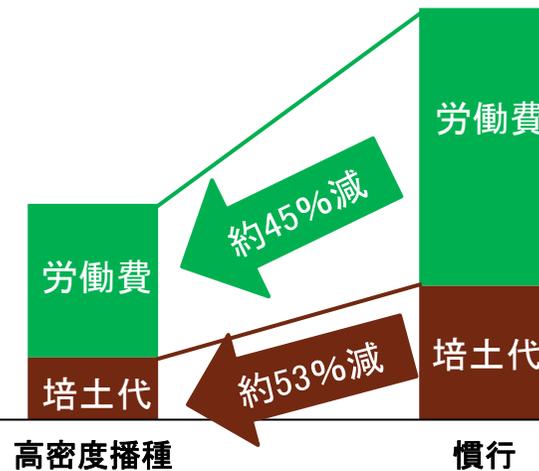


高密度播種 (300g/箱)



慣行 (140g/箱)

・高密度播種300g、慣行140g  
 ・培土代：800円/20kgで計算  
 ・労働費：播種・育苗・田植  
 高密度播種 2.1時間/10a  
 慣行 3.8時間/10a  
 時給1,400円で計算



育苗日数が長くなると、徒長・老化しやすいので、注意が必要です

### 導入の効果

労働費を **45%** 削減

培土代を **53%** 削減